



# 第1学年だより

令和元年度 宮城県中新田高等学校

第1学年通信 Vol.7

2019年9月24日(火)

学年主任 日野 大治

☆生徒の皆さんへ

## 1 考査に向けて

明日から前期期末考査となります。学習計画表通り試験勉強は進めていたでしょうか？先週木曜日と金曜日の放課後に国語総合(古典)の講座を開講していただきました。参加者(自主参加)は約65名でした。また、金曜日には国語総合講座終了後、化学講座を開講していただきました。2日間の講座に1学年の55%が出席したことになります。1学年の生徒諸君が前回の考査より成績が向上することを期待しています。

まだ間に合うかもしれない考査に向けての対策

- ① 絶対にあきらめない！放課後帰宅し、すぐ試験勉強にとりかかる。学習時間中スマホの電源は切る！
- ② わからない箇所を教科担当の先生に教えていただく。
- ③ 課題・宿題提出を怠っている生徒、教科担当の先生に頭をさげ謝罪し受け取ってもらう。
- ④ 体調を整える・しっかり食事をとる。

※今回の考査欠点をとった場合、次回学習会に参加していただきます。(考査2週間前)今回より学習時間を増やします。

☆前期期末考査について

9月25日(水)～30日(月) 4日間

	9月25日(水)	9月26日(木)	9月27日(金)	9月30日(月)
1校時	国語総合	現代社会	化学基礎	保健
2校時	数学Ⅰ	家庭基礎	コミュニケーション英語	数学A
3校時	社会と情報	生物基礎		

## 2 ラグビーW杯に思う

先週金曜日にラグビーW杯が開催しました。この大会はオリンピック・サッカーW杯とともに世界三大大会と言われるスポーツの祭典です。アジアでは初の開催だそうです。皆さんは試験勉強が忙しく、金曜日の日本戦を視聴した人は少なかったかもしれません。日本はロシアを相手に素晴らしい戦いを演じ勝利しました。皆さんにとってあまり身近ではないスポーツかもしれませんが。

東京新聞社説(9月21日)を紹介します。「ラグビーW杯の代表選考は国籍に縛られない。日本代表のメンバーにもニュージーランドやトンガ、韓国などさまざまな国から来た選手が入っている。それぞれの事情で来日し日本代表を選択した選手と、日本で生まれ育った選手らが融合。悲願のベスト8入りを目指す。ラグビーの試合が終了することを日本ではノーサイドと表現する。ノーサイドには激しくぶつかり合った試合が終わった後、お互いの健闘をたたえ合うとの意味が込められている。海外の選手たちにもノーサイド精神は深く浸透している。試合が終わった後、選手たちが握手を求める姿や笑顔を見てほしい。勝敗にかかわらず、相手チームや審判団に尊敬と感謝の意を示す選手たちの、誇り高さ姿が確認できるはずだ。アパルトヘイト(人種隔離)を乗り越え1995年の自国開催で初登場した南アフリカ代表には、今回初の黒人キャプテンが誕生した。日本代表のキャプテンでニュージーランド出身のリーチ選手は、日本国籍を取得している。違う国、別々の文化で育った選手たちは、自ら選んだジャージーを着て戦う。そこには偏狭(①度量が狭いこと。考えがかたよって狭いこと。)な民族意識は存在しない。共に戦う仲間と相手への敬意が常に息づいているからだろう。

このことは私たちの学年または今後の学校生活の手本となるものではないでしょうか？互いにクラスメイトの多様性を認識し、互いを尊重できる力を養い、お互いが居心地の良いクラスにしてほしいと思います。期末考査終了翌日には後期に入ります。10月は校内持久走大会・中高祭等行事も目白押しです。学校生活に慣れが生じる頃です。1学年全体で気を引き締め、学校生活を送りましょう！